

市長就任式・訓示

私は、十一月十九日執行の市長選挙において、多くの市民の皆様からの深いご理解と力強いご支援を賜り、本日ここに第十四代蕪崎市長として市政執行の大任を担うこととなり、今、その職責の重大さをあらためて痛感するとともに、身の引き締まる思いをしております。就任にあたりまして、市職員の皆さんに私の市政運営にあたっての基本的な考え方につきまして申し上げ、職員の皆様の深いご理解と絶大なるご協力をお願い申し上げたいと存じます。初めに、小野前市長におかれましては、二期八年間にわたり市政を担当され、市政進展のため、ご努力を重ねてこられたご苦勞とご功績に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表する次第であります。今後のご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げます。さて、今回の市長選挙は、大変厳しいものでありました。それゆえに多くの市民の皆様と接し、様々な生のご意見、ご要望をお聞きする中で、まず本市が置かれている状況を停滞から再生へと、新段階へステップアップさせ、真に子供からお年寄りまでお一人おひとりが、健全で安心して生活できるまち、の実現を図ることが必要であると強く認識いたしましたところでもあります。今回の選挙を通じて特に実感したことは、若い方々を中心に強く私を支援してくださったことでもあります。このことは今の市政の現状を変えて欲しいとの願いの表れであるものと受けとめております。そのためには、市民の皆さんと市職員の皆さんの知恵とパワーを結集して、積極、迅速、果敢な市政を推進しなければならないと思っております。そして、本当に市民の皆様が主役の市政になるように、言葉だけではなく、実現力のある市政改革を行い、将来につながる都市づくりを推進していく必要があると考えております。私は市政運営にあたっての基本姿勢といたしまして、第一に正義を貫き公平公正で透明性の高い開かれた行政執行を念頭といたしております。市政の基本は、市民と行政の相互信頼に基づく協力関係が構築されていることでもあります。「市民から信頼され、愛される市政」それは公正な市政でなければなりません。あらゆる地域、全ての市民の皆様に対して公平な市政でなければなりません。仮にも、一部の者のための市政であっては絶対にならないものであり、私は、自らを厳しく戒め、常に安易な妥協を排し、公平な市政を公正に執行してまいります。第二に、「豊かな心と強い絆」を基本理念に、一人ひとりが支え、支えられ、人のやさしさと安らぎを実感できる思いやりの市政の展開を目指します。家族の絆、地域の絆、また、市民と市政の絆を大切に、「夢」と「希望」を持てるまちづくりに全知全能を傾注し、邁進してまいります。第三に「市民誰もが参加し協働できる市政」の実現を目指します。市政はもともと市民のものであり、市民が主役でなければならないことは、当然のことでもあります。多様化・高度化する住民ニーズを的確にとらえながら柔軟に対応する体制を整えるとともに、今後は、ますます市民参画・市民協働によるまちづくりが重要になってくるものと思っております。多くの市民の皆様の声を十分に聴き、市政はこれらに細やかに対応して、市民の満足度の向上を図っていかねばなりません。これらの実現には、市民の皆様一人ひとりが当事者として、地域の課題を市民と行政が共に担い合い、責任と役割を分担してはじめて市民参加が実現できるものであります。このため、今後更に、地域コミュニティ活動やボランティア活動等を積極的に支援してまいります。以上市政運営の基本理念を申し上げました。次に主なる政策目標について申し述べたいと存じます。峡北地域の政治・経済の中心市として役割を果たしてきている本市は、現在、人口では約三万四千人で、北杜市、甲斐市、南アルプス市の五万人から七万人という人口規模の大きい都市に囲まれております。私は、元気で活力のある蕪崎市を実現するため、人口増対策を図り、市民の皆様とともに「人が来るまち、人が住むまち」の実現を目指してまいります。このためには、まず、魅力ある雇用の場の確保と就業機会の拡大を促進する必要がありますので、企業誘致を積極的に推進してまいります。次に、本市の特色ある伝統や文化を生かした、ふるさとまちづくりであります。本市には高い潜在能力を持った豊かな自然や歴史的施設、文化的施設が数多くあります。これらを有効に活用した活性化策を推進してまいります。更に地域の住民の方々と一緒に考えながら、ひとつの

地域にひとつの特色を生かした「一町・一ブランド」のような発想で新たなブランドを確立し、住民参加のまちづくり、まちおこしを行ってまいりたいと考えております。次に、少子化対策と医療の充実、福祉の向上についてであります。子育て支援は、希望ある未来への重要な投資であると考えております。小学校六年生までの医療費無料化を行うとともに、年間を通じて安心して働ける環境づくりを充実するために、児童センターの利用環境の整備を図ってまいります。また、峡北の中核病院であります市立病院につきましては、市民の皆様により一層質の高い医療サービスが提供できますよう、安心できる医療の充実に努めて参ります。更に、高齢者、障害者、要介護者への生活支援の充実を図って参ります。次に、夢と活力のある蕪崎市の実現であります。まず、蕪崎駅前開発と中心市街地の活性化についてであります。片倉工業跡地は本市のかけがえのない一等地であり、この土地の利活用により本市活性化の起爆剤ともなる土地であります。早期に開発が進展されるとともに、中心商店街の活性化を図ることができるよう熱意を持って直接交渉をしていく考えであります。また、今月末には、光ファイバーが蕪崎市全体に設置される予定であります。この大容量高速情報通信網は、これからの時代には不可欠なものとなってきており、これを有効利用することにより、有利な企業誘致や商店の活力を図ることも可能であります。また、遊休農地の活用や農業後継者育成の支援策を積極的に推進してまいります。更に穂坂地区の広大な市土地開発公社の長期保有土地、いわゆる塩漬け土地につきましては、民間活力等を導入して、有効な利活用の方策を検討して参ります。次に、教育の振興についてであります。子供から高齢者まで、いつでも、どこでも学ぶことのできるまちづくりに努めます。また、蕪崎の歴史、文化、自然の継承教育の強化や生涯学習を推進して参ります。次に、誰でも安心して生活できるまちづくりについてであります。災害発生等に備えて、迅速な早期伝達防災体制の構築や災害防止に向けての防災整備などをはじめ、下水道事業の見直しなど排水処理事業の整備計画を併せて実施してまいります。これらの主なる政策目標の具体的な実施につきましては、これから慎重に検討してまいります。この実現には、市民の皆様をはじめ、市議会議員各位、市職員の皆さんの一体となった協力体制が不可欠であります。特に職員の皆さんにおかれましては、一致団結し目的達成のため協力していただく事を切に願うものであります。地方分権が進められている今日、地方公共団体は、自己決定能力と自己責任能力が求められており、しっかりとした基盤を持つ「自立した地域づくり」が必要であります。特に厳しい財政状況の中で、市民ニーズに応えたまちづくりを着実に推進しながら、健全で安定的な財政運営を維持していくため、財政構造の改革を進めていくことが重要であります。現在、本市の財政状況は予断を許さない状況であります。多くの行政課題や市民ニーズに対応していくには財源の確保を図るとともに、事務事業の見直し等、行政改革を止めることなく推進し、徹底した経費の節減と創意工夫に努め、簡素で効率的な行政運営を行っていく必要があると考えております。更に、費用対効果を考慮し、成果を基本とした、企業経営的感覚を持って事務、事業にあたる必要があると考えております。いわゆる行政運営でなく行政経営であります。私も微力ながら黒塗りの市長公用車の廃止に努めてまいります。職員の皆さんには、常に自己啓発を行い、目的意識を高め、市職員として業務に対する意識を改革していただきたいと考えております。行政は、市民のためのサービス産業であります。職員はよく聴く耳を持ち、いつも学ぶ姿勢に心がけ、変革への勇気をもつ職員であって欲しいと思っております。以上、市政を担当するにあたっての私の考え方を申し上げましたが、この私たちの蕪崎市が素晴らしいまちになりますよう、全知全能を傾注し、邁進していく考えであります。職員の皆さんも頭脳集団として市政進展に向け、一生懸命頑張ってください。また、公僕としての自覚のもと、明るい職場づくりに心がけ、優しさの中に厳しさも兼ね、生き生きと活動されんことを願うものであります。どうか職員の皆様のご協力を心からお願いいたします。私の市長就任の挨拶と職員への訓示といたします。